# 鶴岡市社会福祉協議会

# 



# 福祉学習講師の渡部佐一さんにお話しを伺いました

社協では、鶴岡市内の小中学校などで福祉の心を育むことを目的 に福祉学習を行っています。今回は、ご自身に聴覚障がいがあり、 福祉学習では「聞こえないことを理解する」をテーマに講師(ゲス トティーチャー)を務めている渡部佐一さんと、同じく聴覚障がい がある奥様の志帆さんから、福祉学習や普段の暮らしについて、手 話通訳者を交え伺いました。

- ■福祉学習のゲストティーチャーを担ったきっかけを教えてください。 長女が通う小学校から直接頼まれたのがきっかけです。教材作り を長女も手伝ってくれ、手話への理解も深まったように思います。
- ●福祉学習に携わって感じたことを教えてください。

子ども達とのふれあいが楽しいです。最初は子ども達がどのよう な反応をするか、不安な気持ちもありましたが、「聞こえない」と いうことを子ども達に伝えることができました。

●普段の生活で不便を感じることはありますか? 周りの人とのコミュニケーションが取りづらい場合があります。 □3.7 □話※だとつい大きな声が出たりするので、周りの目が気になるこ ともあるため、紙に書いて伝えてもらうとうれしいです。

※□話…□の形から言葉を読み取り、また、その□の形を真似る ことで言葉を発すること

#### 活動を通して伝えたいことはありますか?

聞こえないけど、車の運転もできるし、ショッピングも楽しめる し、みんなと同じように生活しています。自分の活動から手話への 理解が深まってくれるとうれしいです。

#### …… 〈インタビューを終えて〉……

始めは緊張していた様子のお二人でしたがインタビューが進むに つれ、手話を使って積極的に思いを伝えて下さいました。お話しを 伺って、手話は手の動きで言葉を表すだけではなく、表情や身振り など身体全体で思いや考えを相手に伝える言語であると実感しまし た。相手としっかり目を合わせ、表情豊かに、ていねいに対話する ご夫妻の姿が印象的でした。

○ 次頁では遠隔手話通訳サービスをご紹介しています

# まちづくりはごごから! 地域支え合いプラン

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で「地域支え合いプラン」 をもとに様々な取組が行われています。最終回となる今回は湯田川地区の取組の内容をご紹介します。

# 湯田川地区

学区の特徴 鶴岡の奥座敷と呼ばれる湯 田川温泉がある地域。共同浴場があり利 用している住民も多い。湯田川・藤沢住 民会の2つの住民会に分かれている。 人口 933人 世帯数 382世帯

#### プラン❶ 見守りの輪を広げよう『みまもりのわ・ゆたがわ』

・地域全体で見守り支援の必要性を知る機会を作り、気軽に声を掛け合える地域にする。

#### ▽ラン2 暮らしのちょっとした困りごとを解決『しえんのわ・ゆたがわ』

・高齢者の生活面を支援することで、地域内で安心して暮らし続けることが出来る地域 づくりを目指す



地区社協と民生児童委員との情報交換会

います。 ミセン つの 活の 3付きの: も 湯田川地域では、 中での ਰ ਹ 見守り方法を強化しています Ó に 祉協力員のほか、 事務局、地区社協、地域ケーさらに、民生児童委員、について説明会を行い、意 交換 地 わ であることを発信 共同浴場の利用や散歩の時などの日常生 域 ちょっとし ークルや会食会などへ自主的 が広がる地域を目指 0 見守りの た 担い手である福祉協力員 地域住民による 『まちなか見守り』  $\Box$ むことができるよう 意見交換をすること 意識啓発を図 ケア推進担当者 いく の見守り 福祉協· 『自己発信 に参加し、 氏生児童 万員、 訪問 の つ 7 た 12

# 「鶴岡市遠隔手話通訳サービス」が始まりました!

令和5年4月から、聴覚障がいのある方に対して、 感染症流行時、事故、災害時など、対面での通訳支援が 困難な時に、タブレットやスマートフォンを通じて 遠隔手話を行う「鶴岡市遠隔手話通訳サービス」 が始まりました。

月~金(年末年始・祝日は除く) 午前9時~午後5時

#### 利用方法

- 1 鶴岡市福祉課障害福祉係または鶴岡市障害者相談支援 センターに、申請書を提出し登録して下さい。
- 2 お持ちの端末の「LINE」アプリか、Apple社製品をお 持ちの方はFaceTimeを利用できます。 その他、詳しい利用方法はお問い合わせください。
- ※タブレット、スマートフォンをお持ちでない方には、 貸出しもいたします。

利用料

無料(通信料は利用者負担になります)

#### 表紙の渡部さんご夫妻がご紹介!

遠隔手話サービスの利用方法を、 今号表紙の渡部さんご夫妻が分か りやすく紹介しています。QRコ-

ドから鶴岡市公式 YouTubeにアクセ スできますので、 ぜひご覧ください!



#### 問い合わせ先

◆鶴岡市福祉課障害福祉係

TEL: 0235-35-1273 FAX: 0235-25-9500

Mail: fukushi@city.tsuruoka.yamagata.jp

◆鶴岡市障害者相談支援センター「にこころ|

TEL: 0235-25-2794 FAX: 0235-25-2476 Mail: shogai-c@shk01.jp

#### 鶴岡市社会福祉協議会

# 令和4年度事業報告と決算報告

鶴岡市社協3計画(地域福祉活動計画、発展・強化計画、事業経営計画)第3期(令和3年度から令和7年度)の 2年度として、それぞれに示された課題を計画的に推進しました。

# 重点事業報告

#### ■ 法人運営の充実・強化

- ・組織運営と組織体制の強化やガバナンス(組織統治)、労務管理体制の強化に継続して取り組みました。
- ・本部事務局移転整備は建物改修工事を計画的に進め予定通り完成しました。

#### 2 地域福祉活動の推進

- ・地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2020」に基づいた活動を進め、各地域が作成した「地域支え合いプラン」に基づく地域の福祉活動を支援しました。
- ・各福祉センターの職員を地域福祉ワーカーとして位置づけ、民生児童委員や各相談 支援機関と連携して対応することで活動事例を増やし、コミュニティソーシャルワー ク機能の定着化を図りました。
- ・大雨災害により設置された宮城県大崎市及び山形県川西町の災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、さらに、市内ボランティア団体の協力により、宮城県大崎市及び山形県飯豊町でボランティア活動を行い、災害に対する支援を図りました。



- ・判断能力に不安がある方の福祉サービス利用や日常的な金銭管理、成年後見等の支援に努め、同時に、権利擁護に関わる総合的な支援のあり方について、鶴岡市の成年後見制度利用促進の計画事項を基に、社協の役割、機能について検討しました。
- ・緊急小□資金拡充支援資金貸付に継続して取り組み、更に貸付に伴う償還事務手続、 償還免除申請等を進めながら借受世帯の状況確認に努めました。



- · 高齢者福祉事業は、職員一人ひとりの専門性を高めるため、専門職研修、認知症実 践者研修、相談業務研修等へ積極的に参加し、福祉サービスの質の向上に努めました。
- ・障がい者福祉事業は、自立支援の視点を持ちながら利用者一人ひとりのニーズに沿った個別支援を充実させ、利用者に寄り添った支援に努めました。

#### 5 児童福祉事業

- ・保育所、児童館、放課後児童健全育成事業で行ってきた様々な事業について、新型 コロナウイルスの感染拡大の中、事業の在り方や実施できる方法を模索し、開催に 努めました。
- ・学童保育所及び放課後児童クラブでは、引き続き感染症対策を徹底し、児童が安心して過ごせるように支援を行いました。令和5年2月末には鶴岡西部放課後児童クラブのクラブ室増設工事が完了し、入所希望児童増加に対する保育スペースを確保できました。



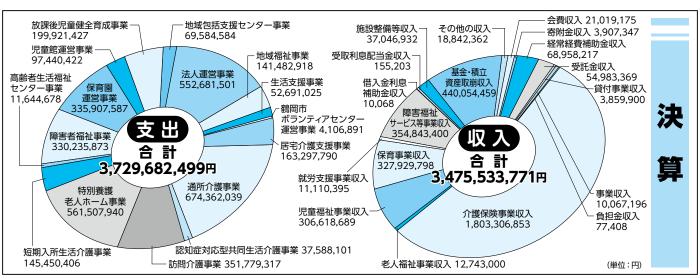
大雨災害被災地での支援活動の様子



もみじが丘とANA SHONAIブルーアンバサダー 共同でお土産パッケージを製作



鶴岡西部放課後児童クラブ 新たに増設したクラブ室





#### 映画・福祉・商店街のコラボ事業

#### 誰でも気軽に参加できます!



# 「山王キネまち大学2023」が始まりました!

今年3月に再生オープンした「鶴岡まちなかキネマ」や、 隣接する山王商店街などをフィールドに多彩な活動が実施 され、市民の学びや交流の場として取り組まれる「山王キネ まち大学 2023」がスタートしました。

この事業の中で当社協では、障がい、認知症、災害、地域 づくり等をテーマにした福祉系映画上映と合わせて、福祉や 防災等を理解していただくための取組を企画しています。

今後の予定は、まちキネ、当社協などから随時お知らせし ていきます。たくさんの皆さまのご参加をお待ちしております。

- ●右記についてのお問合せ、お申込みは 鶴岡市ボランティアセンターへ。(電話 0235-23-2970)
- ●各映画の内容等は、まちキネホームページや PR チラシ等 をご覧下さい。

#### 映画・イベントのご案内 〈7~9月上旬〉

#### (1) 上映映画

- ①「こころの通訳者」 7/22(土)~8/4(金) ②「30(さんまる)」 8/26(土)~9/8(金)
- (2)上映後のコラボ事業 (当日映画鑑賞者対象)
- ①「30」監督トークショー 8/27(日) 午前
- (3)特別企画(事前申込必要)
- ①「30」鑑賞と鈴木七沖監督講演会 8/26(土) 午後 市内介護·福祉関係職員対象(別途案内予定)

......<u>..</u>.......................

# i)情報掲示板

#### 令和5年度「ふれあい福祉相談」のご案内

#### ●常設相談(職員対応)

地域における生活の困りごとや、失業や病気など により生活の維持が困難な世帯の生計に関すること、 高齢者などの日常的な金銭管理など、福祉全般に関 わる相談に職員が応じます。

日 時:月~金曜日(祝日を除く)

午前8時30分~午後5時15分

所:各福祉センター

(問合せ先 ページ下段に記載)

#### ●巡回弁護士相談(下半期10月~3月)無料・要予約

10月4日(水) 10:00~15:00 櫛引福祉センター

10月18日(水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

11月15日(水) 10:00~15:00 藤島福祉センター

12月20日(水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

2月21日(水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

3月13日(水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

※相談は予約制となっており、各日程の1ヵ月前から

予約を受け付けます。

1月17日(水) 10:00~15:00

※相談時間はお一人30分、相談料金は無料です。

### **200** ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます (令和5年5月1日から令和5年6月30日までのご寄付を掲載しています)

#### **★デイサービスセンターふれあいへ**

つるおかオレンジサポートの会

認知症マフ22個

- ・佐々木 晋平 様 切手(未使用品) 116枚 **★デイサービスセンタ-**-とようらへ
- 手作り新聞紙袋 500枚 ★児童福祉事業所へ · 堅苔沢婦人会 様
- ・三瀬三班仲宮会 様 ウェス段ボール5箱分
- ・岩ゆり会 様

· 佐藤 千代子 様

ウェス紙袋3袋分

手作り新聞紙袋300枚

★鶴岡老人福祉センター、デイサービス センターおおやまへ ・㈱IVCケンウッド山形 様

車いす2台

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・伊藤エヨ 様 木製なるこ等の遊具 24個

・国際ソロプチミスト鶴岡様 100 000 円

フェイスタオル 20枚 ★中央児童館、大山児童館へ

·加藤 栄助 様 カブトムシ 幼虫 50匹

★鶴岡西部放課後児童クラブへ

・㈱マルハン鶴岡店 様 お菓子 段ボール 3箱分 介護用品2点

#### ★櫛引地域の3保育園へ

- ・東京都江戸川区 布絵の会 様 布絵本6冊 **★フードバンク**
- ·川名 隆宏 様

カップ麺8個、パックご飯12個

· 佐藤 金二 様 お米 30kg

食料品 22点 ・つるおか森の時間 様

· 共立社鶴岡生協 様

食料品、日用品計190点

鶴岡福祉センター

・末日聖徒イエス・キリスト教会 様

食料品63点

# おだがいさ

第107号 令和5年8月1日発行 発行部数 47,700部



#### 編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815 FAX 0235-26-7837 ホームページ https://www.shk01.jp/



#### **TEL 24-0053** 鶴岡福祉センター 藤島福祉センター **TEL 64-3100** 羽黒福祉センター **TEL 62-4534** 櫛引福祉センター **TEL 57-5300**

朝日福祉センター **TEL 53-2795** 温海福祉センター **TEL 43-2114** 



この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。